

本場結城紬を使ったスカーフ等の 商品開発支援

【相手先企業】

結城紬新分野開拓研究会

【目 的】

現在、結城紬による商品として、着尺、帯、ネクタイ、名刺入れ、財布等の商品は存在します。このような着尺・帯等以外で多様な消費者ニーズを取り入れたスカーフ、バッグ等の商品開発を行うことで産地活性化を図ることを目的に商品開発を支援しました。

【内 容】

商品開発に当たって、経糸・緯糸密度が従来の本場結城紬とは異なっても、カバーファクター等考慮することで、本場結城紬が本来もっている味わい深い風合い等を損なわない商品作りができるよう支援をしました。

開発商品：スカーフ、マフラー、バッグ、ポーチ、財布、手帳カバー等約60点。

【成 果】

平成16年12月21日（火）～27日（月）まで、東京銀座松屋7階の遊びのギャラリーにおいて求評展示会を行いました。多数の来客のうえ反応もよく予想以上の販売予約数が得られるなど大好評でありました。消費者ニーズに適った新たな結城紬商品を開発し、好評を得た今回の展示会は今後の産地にとって非常に有意義なものとなりました。



写真 展示会場



写真 開発商品の一例

基礎となった事業：地域づくり研究会（茨城県地場産業等総合支援事業）
結城紬の里づくり実践プロジェクト（平成16年度）
紬技術部門

